

10/15・16日尺八公演を開催しました

2019年10月15日、ギュムリ市イタリア名誉総領事館ホール及び10月16日、エレバン国立音楽院及びコミタス博物館のホールにおいて、日本の伝統楽器である尺八の公演会が行われました。

会場には両日ともに大勢の観客が集まり、尺八演奏家入江要介氏による演奏に対して、盛大な拍手が寄せられました。また、ギュムリ及びコミタス博物館での公演には、ゲストとしてカノン奏者のターニャ・ハルチュニャン嬢も参加し、両国の音楽家によるコラボレーション演奏が行われました。

さらにエレバン国立音楽院では、音楽院の教授陣及び学生達の協力を得て、入江氏が作曲した曲の合同演奏が行われました。



入江氏による演奏



左からアントニオ・モンタルト在ギュムリ・イタリア名誉領事、入江氏、アラクシャ・ムシェギャン音楽プロデューサー、ハルチュニャン嬢、山田大使



ホヴァニシアン・エレバン国立音楽院学長及び山田大使による挨拶



エレバン国立音楽院の学生達との合同演奏



ハルチュニャン嬢（カノン）との合同演奏



観客に尺八演奏法を指導する入江氏



（左から）会場に訪れたナザリャン国民議会副議長，山田大使，ホヴァニシヤン外務省アジア大洋州局長ほか